

希望が香る、広報誌。

みみはら vol.01



耳原総合病院・外来診療案内

問合せ先 072-241-0501 (代表)

		月	火	水	木	金	土
内科	紹介外来 午前診	斉藤和則 (消化器)	松田圭市 (高血圧・循環器)	岡田正博 (消化器)	大矢麻耶 (腎臓内科)	亀井亜希子 (呼吸器)	松田圭市 (1,2) (高血圧・循環器) 若崎桂子 (3) (糖尿病) 緒方浩美 (4) (糖尿病)
	神内・リハビリ外来 午後診	×	×	×	(予) 三宅徹也	×	×
	循環器内科 午前診	(予) 小笹祐	(予) 石原昭三	(予) 西山裕善	(予) 貝滋樹	(予) 梁泰成	×
	糖尿病外来 午後診	(予) 岩崎桂子	×	×	×	×	×
	リウマチ外来 午後診	(予) 川口真弓	×	×	×	×	×
	睡眠外来 (SAS) 夜診	×	(予) 瀧美正彦	×	×	×	×
外科	午前診	大腸内視鏡予約外来 9:15~	大腸内視鏡予約外来 9:15~	大腸内視鏡予約外来 9:15~	大腸内視鏡予約外来 9:15~	大腸内視鏡予約外来 9:15~	大腸内視鏡予約外来 9:15~
		(予) 戸口景介	手術日 平林邦昭	(予) 裕野孝治	(予) 山口拓也	手術日 平林邦昭	(予) 戸口景介 (1)
		(予) 今井稔		(予) 外山和隆	(予) 吉川健治		(予) 裕野孝治 (2,5) (乳腺・甲状腺)
	(予) 山口拓也	今井稔		外山和隆 (2,4) / 今井稔 (1,3,5)	(予) 平林邦昭 (3) / (予) 裕野孝治 (4)	(予) ヘルニア専門外来 (2,4)	
※月・水・木に直接来院の方は、当日予約診の医師が交代で診させていただきます。							
午後診		手術日	×	×	(予) 吉川健治 (肝胆脾腫瘍)	手術日 (予) 乳腺 (非常勤)	×
	(予) 麻酔科術前外来	×	×	×	(予) 山口拓也 (ヘルニア)		(予) 裕野孝治 (乳腺・甲状腺)
	夜診	(予) ピロリ菌除菌外来 17:30~19:00	×	大腸内視鏡予約外来 17:30~19:00 (予) 平林邦昭	×	×	×
緩和ケア外科	午後診	×	(予) 緩和面談	×	×	×	×
心血管外科	午前診	手術日	×	手術日	×	(予) 井上剛裕	×
	午後診	×	×	×	×	×	×
呼吸器外科	午前診	×	×	×	×	×	(予) 非常勤 (1,3)
整形外科	午前診	(予) 河原林正敏 吉岡篤志	手術日	(予) 河原林正敏	手術日	河原林正敏 (予) 吉岡篤志	
	午後診	(予) 吉岡篤志	手術日	(予) 河原林正敏	手術日 (予) 非常勤	(予) 吉岡篤志	×
	夜診	×	×	(予) 吉岡篤志 17:30~19:30	×	×	×
脳外科	午後診	×	(予) 非常勤 14:30~16:00	×	×	(予) 非常勤 14:00~16:00	×
泌尿器科	午前診	新患のみ	(予) 田原秀男 (予) 清水信貴	手術日	(予) 田原秀男 (予) 安田宗生	(予) 安田宗生 (予) 坂野孝治 (1,3,5) / 交代制 (2,4)	(予) 交代制
	午後診	手術日	検査	手術日	ESWL	検査	×
産科	午前診	(予) 高木力	(予) 内田学	(予) 高木力	×	(予) 坂本能基	×
	午後診	×	×	×	×	(予) 坂本能基	×
婦人科	午前診	坂本能基 / 非常勤	坂本能基 / 非常勤	内田学 / 非常勤	手術日	高木力 / 非常勤	交代制
	午後診	×	×	(予) 坂本能基 (予) 高木力	手術日	(予) 内田学	×
	夜診	×	坂本能基 ※17:30~19:00	×	×	×	×
精神科※	午前診	×	(予) 非常勤 / (予) 非常勤	×	(予) 非常勤 / (予) 非常勤	×	(予) 非常勤 (2,4)
	午後診	×	×	×	×	×	×
眼科※	午前診	栗本拓治 (予) 非常勤	栗本拓治 (予) 非常勤	栗本拓治 (予) 非常勤	栗本拓治 (予) 非常勤	栗本拓治 (予) 非常勤	×
	午後診	手術日	×	手術日	×	×	×
ER (救急外来)	24時間受付中						

※医師の休暇等で診療体制に変更がある場合がございます。事前にお問い合わせください。
 ※精神科は非常勤のみの完全予約制ですので、事前にご予約ください。(緊急のお受け入れはできません)
 ※心血管外科では下肢静脈瘤の治療は行っていません。

※呼吸器外科では新規の患者様のお受け入れはしていません。
 ※分娩予約は随時受け入れております。



みみはら
VOL.01
Spring
2015年4月1日発行

発行人 奥村伸二 発行 社会医療法人 同仁会 耳原総合病院 サポートセンター・地域連携室
 〒590-8505 大阪府堺市堺区協和町4丁465番地
 TEL 072-241-0501 (代表) TEL 072-241-0324 (直通)
 URL <http://www.mimihara.or.jp/sogo/>

2015年4月、耳原総合病院が新しく生まれ変わりました。新病院オープンにあたり、その特色や意気込みについて奥村伸二病院長にお話をうかがいました。



すべての人を魅きつける マグネット・ホスピタルを めざして

耳原総合病院 病院長 奥村伸二

安心・安全で質の高い 医療を提供し続けるために

おかげさまで新病院建設が予定通り竣工し、2015年4月より新しい場所で診療を始めます。ご支援・ご協力をいただいたみなさまに深く感謝いたします。

完成した病院は旧病院よりも高く、災害拠点病院レベルの耐震構造の14階建て。新病院南側の外壁には、この地に根ざすケヤキの樹木をモチーフに「みみはらの木」をモザイクタイルで大きく描いています。さらに質の高い医療を提供するために、自然治癒力を高める療養環境、手術室の拡充、緩和ケア病棟の



全室個室化、患者情報の電子カルテ自動入力システムなどを新たに進めました。「災害時に地域を守る病院」を追求し、救急救命室（ER）をこれまでの2.5倍に拡大。また、地震や大型台風などの被災者の受け入れスペースも確保しています。急性期医療においても、これまで以上の対応力につながることを期待しています。

無差別・平等の医療を貫き 地域に支えられて65年

1950年、耳原町（現：協和町）に私たちの前身である耳原実費診療所は生まれました。「病院にかかるのは最後の時」

というぐらい貧困であったこの地に、地域の人たちと民主的な医師たちがカンパを集め、無差別・平等の医療をもとめた診療所が立ち上がりました。民家の2階を間借りした手狭なところでしたが、堺市で初の民主診療所が生まれたのです。

それから65年の月日を重ね、先人の思いを引き継ぐ建物が多くの支援により完成しました。地域住民や職員の悲願であったより安全で安心、耐震性にも優れた新生・耳原総合病院にです。新病院建設の背景には、設備の老朽化のため、良好な療養環境を保つことがむずかしくなったことがありました。

1998年に前倒産という経営危機を乗り越え、2000年に新病院の建設運動が始まりました。建設に至るまでの道のりは険しく、土地購入の問題などさまざまな困難がともないました。堺市議会で耳原総合病院の建て替えが承認されたのが2011年。私はちょうどその



開放感のあるエントランス



各フロア独自の鳥が出迎えてくれます



新病院東側の“協同の壁”

心に寄り添う “希望の灯”

不安や身体の不調を抱えています。その病院のロビーやエレベーターホール内、無機質な医療機器に美しい絵が描かれていたら、ほんの少し晴れやかな気分になると思いませんか？患者さんの不安や痛みを少しでもやわらげたい。ご家族やス

タッフなどケアする側の人もケアしたい。みみはらのホスピタル・アートが人の心に寄り添う“希望の灯”になることを願ってやみません。

**みんなで創る病院を
まちのシンボルに**

あるドイツ人の歴史学者の言葉に「21世紀は、病院が街のシンボルになる」とあります。つまり、病院のあり方によってその街の様子も変わるということです。患者さまと地域の医療・介護機関と新病院のそれぞれが力を合わせて「WIN-WIN-WIN」の関係をめざすこと。そのことが、人にやさしい街をつくり出すのではないのでしょうか。

私の理想は、だれもが病院を後にした時、「病気でなくても、この病院にまた足を運びたい」「これからの人生をもう少し前向きに歩めそうだ」と感じてもらえることです。すべての人にとって魅力ある病院「マグネツト・ホスピタル」をめざすことが、これまで支えてくださった多くの方々へのご恩返しにつながると考えています。

耳原総合病院は、おかげさまで開設65年を迎えることができました。これからも、地域の健康を守るため、地域とともに歩んでまいります。今後とも変わらぬご助言、ご協力をよろしくお願いたします。

年に病院長となりました。大きな節目の前に、プレッシャーが無かったとは正直、言えません。私事ですが、病院長就任の1ヶ月後に近親者を看取りました。これまで生きてきたなかで最も悲しい出来事が突然やってきたのです。医療人として、多くの死と向き合ってきましたが、見送る人の苦しみや悲しみを、身をもって感じることになりました。あらためて、病院には何ができるのだろうと考えることになりました。

**ホスピタル・アートで
人々の心に「希望の灯」を**

新病院のみどころは、ハード面の充実だけではありません。病院にアートを取り入れ、心なごむ空間をつくろうといくつものプロジェクトが動いています。きっかけは、一人の看護師が「新しい病院にホスピタル・アートを取り入れませんか」と提案してくれたことから始まりました。それから、新病院の療養環境を良くする

ための発表討論会が開かれ、NPOアーツプロジェクトの協力を得て職員もアートを創りだすまでにドキドキわくわくしています。ありがたいことに、デンマーク在住の造詣作家である高田ケラー有子さんや堺市親善大使で銅版作家の安井須磨子さんなど各分野で活躍するアーティストにも賛同いただき、病院の設計段階からアイデアを出すなど関わってくださっています。

病院を訪れる人は何かしらの



循環器内科部長
石原 昭三



第一回

いのちの 現場から

夕方。心臓カテーテルの手術が終わった直後から、胸ポケットの携帯電話が鳴り響き、息つく間もなく次の診療へと向かう。循環器内科の石原昭三部長の一日は、こうして過ぎていきます。

心臓や血管のトラブル「心疾患」は、日本人の死亡原因の第二位。心筋梗塞のような命に関わる病から、動脈硬化や狭心症など、生活習慣病に由来する病と治療対象は多岐にわたります。同科に入院する患者さんも月間150〜200人と多数。患者さんの多くは高齢者だと

言います。「高齢患者さんの特徴は、肺の病気や認知症、さらにはがんが見つかることがあるなど、心臓以外にも様々な病気を抱えているところですよ」と石原部長。複雑に絡み合う疾患を考慮に入れて治療を行うため、他の診療科や介護・リハビリスタッフとも連携して治療に当たることが重要だと話します。

石原部長が目指す医療は、患者さんを「やりたいことができる生活」に戻してあげること。治療が成功しても、ベッドに寝たきり生活では意味がない、心臓の病気を治すだけでなく、社

取り組んでもらっています。

このほど、新病院オープンに機に「循環器センター」が発足。センターとは大規模施設を指すのではなく、患者さんが迷うことなく最適医療を取捨選択できるような、治療の道案内をする「考え方」だと言います。1階のサポートセンターに循環器に精通したスタッフを置き、救急救命室や各病棟とも連携して治療のアドバイスをするのが、具体的な役割です。

加えて、高速撮影で体内を精密に映し出す最新鋭機器「320列CT」を導入。これによつて、カテーテル検査をしなくても画像診断できるようになり、患者さんの身体的負担を大幅に軽減できます。

医療制度がめまぐるしく変わる中、経済的理由から受けたい治療を受けられないケースもあるとか。「そうした事情にまで気持ちを寄せ、他の病院で対応してもらえない患者さんにも最善の治療を提供し続ける。そんな医療人でありたいですね」。

患者さんに

心を寄せる

医療人で

ありたい

会復帰や生活復帰できるような医療を行いたいと意気込みます。病状だけでなく、家庭環境や心理状況にまで心を添わせ、医療に生かすのが同科のポリシー。月曜日はベッドサイドまで出向いて患者さんの声に耳を傾け、水、木曜日は心臓カテーテル患者を対象にした病状検討会、金曜日は患者さんそれぞれの病状を深く掘り下げるカンファレンスと、毎日のように情報交換を行っています。「医師の数は多くありませんが、チームとしての結束は固い。あらゆる患者さんと向き合うため、自分の専門を生かしつつお互いフォローし合っています」。

以前から開設している「心臓リハビリテーション」も、同科のポリシーを形にしたもの。一度ダメージを受けた心臓でも、生活レベルは維持できるとの考えから、理学療法士や看護師らと協力してオーダーメイドのリハビリ計画を立案。運動や食事管理を中心に、医療スタッフの見守りのもと、患者さんに



MIMI HARANA かな人



マイブームは？

「歩く」こと(1日最低1万歩)です。3年ほど前のあることから徒歩通勤を始めて以降、継続しています。「哲学者の道」「哲学の道」がある通り、「歩く」と思考も「活性化」され、足腰の強化だけでない効果もあると思っています。

趣味は？

- 映画館で映画を観ること…「観に行く日」と決めた日は一日3本を目指す。
- ビールにまつわるあらゆること…飲む、集める、巡る、作る
- 本屋さんに行くこと

大切にしているものは？

ビールグラスとコースター。ビールを巡る国内外の旅で、買った・貰ったグラスが80個余り。

MORI TAKASHI 事務長

※4月16日から事務長に就任

ビールをこよなく愛す、事務局のNEWリーダー

森 高志

1976年、熊本県生まれ/1999年に同仁会に採用され、耳原総合病院の医事課を皮切りに、みみはら高砂クリニック、全日本民医連事務局、みみはらファミリークリニック(旧南花田診療所)、総合病院医局、鳳クリニック・高石診療所を渡り歩き、今日に至っています。

好き・嫌いな食べものは？

嫌いなものはありません。苦手なもの…甘い物と揚げ物は食べた後に胸焼けするので。干し柿、単体の干しブドウとクルミ(ただし、レーズンパンとクルミパンは問題ありません)。好きなもの…アーモンド、ピーナッツ、焼き鳥。

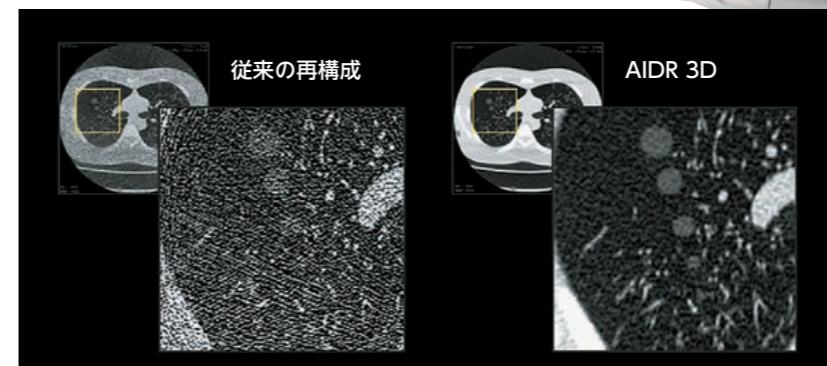
あなたから見た耳原は？

自分と同じであまりアカヌケナイところだと思います。でも本当に、真面目で、熱心で、底力のある集団・組織だと思います。

320列CT 【Aquilion ONE】が 導入されます。

新病院では世界で唯一の160mm検出器を搭載した東芝メディカル製320列CTを新規導入します。寝台を移動させることなく一つの臓器画像の収集が可能です。画質向上と検査時間短縮、被ばく低減など多くの臨床的有用性が創出されます。

320列CTの最大のターゲットは、心臓冠動脈疾患の診断です。従来の心臓カテーテル検査は患者様に与える負担が大きく、また64列CTでは、一回転では心臓全体をスキャンできないため、連続撮影した画像を重ねて再構成するので脈拍の変動や不整脈が発生すると画像にズレが生じる限界がありました。しかし心臓全体を1回転0.35秒でスキャンできる320列CTは、被ばく量や造影剤も少なく、短時間で心臓カテーテル検査と同等の診断精度が得られ、患者様への負担のより少ない心臓冠動脈検査が可能となります。



画質を保ちつつ 最大限のノイズ+ストリーク低減

東芝独自の画像再構成技術「AIDR 3D(エイダースリーディ)」が搭載されます。AIDR 3Dは収集された投影データ上で、統計学的ノイズモデル、スキャナーモデルを用いてノイズを低減します。AIDR 3Dの使用により最大50%のノイズ低減と、75%の被ばく低減効果を発揮します。



食べることは

生きること

1

林 和幸
(調理師)
松村久美子
(管理栄養士)
本田 千晶
(事務)

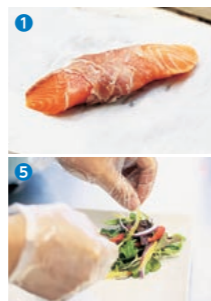
サーモンの生ハム巻き ヨーグルトソースかけ

材料 2人分 エネルギー/380kcal 塩分/1.2g

サーモン(骨・皮なし)…2切れ 生ハム…4枚 油…適量
[ソース] 無糖ヨーグルト…200g 粉チーズ…大さじ1杯 マヨネーズ…大さじ2杯
レモン汁…少々 粗挽き胡椒…少々
[付け合わせ野菜] ベビーリーフ…40g パプリカ…20g レッドオニオン…20g

作り方

- 1 オープンを220度に温め、サーモンに生ハムを巻き、粗挽き胡椒をし、表面に適量の油を塗る。
- 2 オープンに①を入れ、約10分焼く。
- 3 サーモンを焼いている間にパプリカとレッドオニオンは薄めにスライスし、ベビーリーフとともに水にさらし水気を切る。
- 4 ソースの材料を合わせてヨーグルトソースを作る。
- 5 焼き上がれば、皿にサーモンと野菜を盛り付け、ソースを添える。



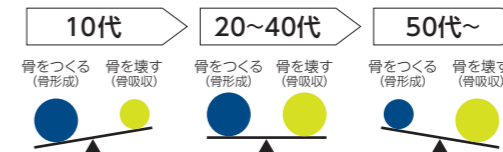
ヨーグルトの力。

カルシウムは骨や歯を作るだけでなく、筋肉を動かす心臓の鼓動を保つなど、重要な関わりを持っています。血中のカルシウムが不足すると、それを補おうと骨のカルシウムが溶け出すため、骨は弱くなります。

日本人のカルシウム摂取量は年代、性別を問わず不足しています。牛乳よりも吸収がよいとされるヨーグルトのカルシウムを、毎日の食事の中で効率よく摂取しましょう。

骨を鍛える。

人は骨をつくる「骨形成」と骨をこわす「骨吸収」を絶えず繰り返しています。丈夫な骨をつくる上で大事なのが、栄養と日光、そして“運動”です。骨がさかんにつくられる10代は、スポーツなどで定期的に体を動かし、骨形成の働きを促進することが大切です。20代から40代は、骨形成と骨吸収のバランスが取れている時期なので、意識的に階段を使うなどして、少しでも将来の骨量減少を遅らせることが重要です。そして、骨吸収の力が強まる50代以降は日常の運動を積極的に行い、骨を強くすることを心がける必要があります。



「フラミンゴ体操(片足立ち)」

目を開けてフラミンゴのように片足で立ちます。壁やテーブルにつかまりながら行ってもOK。左右1分間ずつ(1日3回)。体重を片足に乗せ、負荷を与えることにより骨を強くする効果があります。

50代以降に
オススメ!



「ステップアップ運動(階段・踏台昇降)」

台の高さ:10~20cm
速さ:マイペースでOK(少しきつと感じる程度)
頻度:1回5~10分、週に3~5回(続けられる時間・頻度からOK)

※心疾患、膝・腰痛などのある方は必ず医師と相談してください。

20~40代に
オススメ!

運動トレーナーの どこでも 体操

Lessons 1



健康増進室 運動トレーナー 本部 勇地

略歴/OBC 健康スポーツ学科卒。
20歳で同仁会に入職、健康増進室に配属。
現在、風クリニック勤務。
趣味:フットサル
ひと言:よく外国人にまちがわれます

ちび パートナードッグ

西宮市にあるPFLJから大阪の高石市の「DOG SALONちび」の看板犬に。トリミングはもちろんしつけ教室もしている飼い主のお手伝いをしながら楽しく暮らしています。



寒 章子 グルーマー
家庭犬ドッグトレーナー&インストラクター

愛犬を交通事故で亡くしたことをきっかけに、犬の病気やケガに関する勉強をするため動物病院でグルーマー・看護師として勤務。阪神淡路大震災で被災動物の調査員をした時に動物がストレスで体調を崩す現状を見、グルーミングが犬たちにどれだけのストレスを与えているのかと思いトレーニングの勉強を始める。2010年 JAPDT(日本ペットドッグトレーナーズ協会)にてショートセッション講師を務める。

- 国際家庭犬トレーニング協会認定トレーナー
- 社団法人日本愛玩動物協会 愛玩動物飼養管理士1級

ブログ
「ちびの毎日」

<http://blog.goo.ne.jp/dogsalon-chibi>



〒592-0014 大阪府高石市綾園7-5-63 Tel.072-261-0157
営業時間 9:30~19:00 定休日 月曜日・第3火曜日

犬はその場の状況で思いや感情を私たち飼い主に伝えていきます。
しかし、犬たちの言葉は、言語でコミュニケーションをとろうとする飼い主さんとすれ違うことが多く、飼い主や周りの人から「問題行動」ととらえられたり、時には人とうまくコミュニケーションが取れないことで私たちの身体が不調になることもあります。
せつかく犬と生活するのであれば「一緒に楽しく暮らしたい」

犬は本当によく話をしていて感じます。どんな時も話をしていきます。
と言っても「ワンワン」と吠えて話をするだけでなく、行動や表情などで表現する事で話をしていきます。
寂しい時には側で耳を垂らし尻尾を下の方で振って甘えるし、家族が病気の時は側で寄り添い、悲しい時や不安な時は背中を丸め頭も耳も下げ、目を細めたり…。
「犬のしつけ」や「ドッグトレーニング」と言われるものは、犬たちにお座りやふせ、待てを教えるだけでなく、犬たちと一緒に楽しくコミュニケーションをとる方法を私たち人間側が身につけることだと私は考えています。
もつと犬と一緒に楽しく遊びましょう。そして、いっぱい犬とお話ししましょう！



犬が人とともに

ハッピーに 暮らすために

犬と一緒に暮らすなら、飼い主もワンちゃんも幸福で、周囲に迷惑をかけないことが大事です。

ドッグトレーナーの寒(かん)さんは、阪神・淡路大震災で「避難所における被災動物の状況調査」というボランティアを経験。マナー不足や経験不足により、集団生活に入ることのできなかつた犬たちを目にとっても心を痛めたと言います。

そして、「犬と人がずっと一緒に楽しく暮らすために必要なことは何か？」に興味を抱き、「犬のしつけ」を学ぶようになりました。愛犬との絆を深め、かけがえない時間を共有してほしいと願い、自らも育む寒さんにその想いを語っていただきました。



写真左から峯松 英斉さん、寒 章子さん、ちび

犬は本当によく話をしていて感じます。どんな時も話をしていきます。
と言っても「ワンワン」と吠えて話をするだけでなく、行動や表情などで表現する事で話をしていきます。

寂しい時には側で耳を垂らし尻尾を下の方で振って甘えるし、家族が病気の時は側で寄り添い、悲しい時や不安な時は背中を丸め頭も耳も下げ、目を細めたり…。
「犬のしつけ」や「ドッグトレーニング」と言われるものは、犬たちにお座りやふせ、待てを教えるだけでなく、犬たちと一緒に楽しくコミュニケーションをとる方法を私たち人間側が身につけることだと私は考えています。
もつと犬と一緒に楽しく遊びましょう。そして、いっぱい犬とお話ししましょう！

ハイタッチ！



人だってそうですよ。

困ったことがあると頭をかいいたり、眉間に皺をよせたり、怒っている時は腕を組んだり。人の場合、言語を持っていてるので言語とボディランゲージで他人とコミュニケーションをとり、伝える事ができます。

しかし、犬は人のように言葉で「ここが痛いよ」とか「お水が飲みたいよ」「お腹が痛いよ」と言ってくれません。言ってくれたらどれだけ楽なんだろう…。犬は人のような言語を持っていません。でも、犬たちはボディランゲージで人に伝えていきます。

楽しい時や嬉しい時は尻尾を振り、口角をあげて、目じりを下げ、ニコニコ笑顔になります。

また、機嫌の悪い時には眼力がぎつくなつて睨んでいたり、歯茎をみせたり、拗ねてハウスに引きこもつて横目で睨んだりします。

寂しい時には側で耳を垂らし尻尾を下の方で振って甘えるし、家族が病気の時は側で寄り添い、悲しい時や不安な時は背中を丸め頭も耳も下げ、目を細めたり…。

MIMIHARA GENERAL HOSPITAL
FLOOR MAP
耳原総合病院
フロアマップ



14F	緩和ケア病棟
13F	一般病棟
12F	一般病棟
11F	一般病棟
10F	回復期リハビリ病棟
9F	小児科病棟 管理
8F	一般病棟 総合研修
7F	一般病棟
6F	産婦人科病棟 外來
5F	管理エリア
4F	M E (エヌ・エム) 中材 ICU (集中治療室) 手術 病理
3F	給食 人工透析 リハビリテーション
2F	健診 薬剤 化学療法室 検査・R I 外來
1F	放射線 E R (救急救命室) 外來 サポートセンター (患者様相談窓口) 地域交流ゾーン



かんばら かんじ
神原 幹司 院長

1970年 奈良県立医科大学 卒業
脊椎外科を専門に一般整形外科を研修
1980年 富田林病院 整形外科部長
1995年 富田林病院 副院長
2000年 神原医院 開業 (母の後を受け)

整形外科・脊椎 / 脊髄リハビリ
スポーツ整形・リウマチ・内科

神原医院



診療所では貴重なCT検査機器を保有。的確な診断に活用。



リハスタッフの指導も可能。広く開放されています。



車イスでもラクラク移動できる幅の広い廊下。



身体の不自由な方でも利用いただけます。

※内科推薦医
整形外科かかりつけ医として
歩んできました。

当院では、関節リウマチ、スポーツ整形を含めた整形外科全般を対象に診察しています。特に脊椎、脊髄の診断、治療を得意としています。

また、高血圧、高脂血症、糖尿病、痛風、高尿酸血症などの生活習慣病についても日々診療に努め、皆様の「かかりつけ医」として早期に重大な病気を見つげられるよう心掛けています。

訪問診療・訪問看護・訪問リハビリ(訪問看護ステーション「リハっす」と提携)も実施しています。痛みやしびれなど、いつもと違うなと思う症状は、体からのサインです。気になることがあれば、診療科目にとらわれず、是非ご相談にいらしてください。

設備・機器	CT検査・レントゲン・心電図・動脈硬化検査・リハビリテーション室
スタッフ	医師1名・看護師3名・事務5名・リハビリスタッフ2名



外來診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00 ~ 12:00	○	○	○	○	○	○
13:30 ~ 16:00	○	○	×	○	○	×
17:00 ~ 19:00	○	○	×	○	○	×

休診:水・土曜日午後 / 日曜日 / 祝日

〒590-0814 堺市堺区石津町3丁目2-7
TEL.072-241-2424

